

○「新潟県園芸振興基本戦略」JAグループ実践方針にもとづき、産地育成計画の達成に取り組みます。

## 【稲作経営体での園芸導入のメリット】

○新たな収益源の確保による経営安定、経営資源(水田、育苗ハウス、労働力)の有効活用により所得向上をはかることができます。

## 【産地化の進展による効果】

○地域での産地化により作業受託や共同販売体制が整備され、労力低減や販売価格の安定に繋がります。

## 【JA全農にいがたによる園芸拡大支援】

- 担い手支援策による初度的経費の負担軽減
- 圃場排水性改善に向けた農業機械貸出しによる生産安定
- 市場・実需者要望にもとづく作付提案による所得の安定
- JA全農にいがた「たまねぎ広域集出荷施設」やJAの調製施設による労力軽減と作付け拡大

## 《圃場排水性改善農業機械》



籾殻補助暗渠  
モミサブロー



碎土耕起  
アップカッターロータリー

## 《機械化体系によるたまねぎの主な生産工程》



移植機による定植作業



たまねぎ圃場(越冬後)



収穫作業



広域集出荷施設による選果